

# 授業改善等に関する報告書（2020年度前期）短期大学部

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Workshop A	大倉 恭輔	Workshop ですので、もっと積極的に「何回も何回も」遂行をしてください。「話を聞いてわかる」ということではないのですから。とはいえ、こちらも皆さんの苦戦をうまくくい取れなかった部分があります。オンラインとはいえ、もう少し工夫の仕方があったのではと反省しています。半期お疲れさまでした。これからも「コンセプト」をはっきりさせて「見取り図」をつくって、「推敲を繰り返す」ことでステップアップしてください。
都市文化研究	大倉 恭輔	コロナのために町に出られないという状況で、授業方法の修正が間に合わない部分がありました。そのために授業内容がややわかりにくくなったかもしれません。ただ、どの授業でも同じですが、わからない部分はどんどん質問するようにしてください。
Workshop B	三田 薫	今年度のメディア授業は、例年以上に課題の提出や授業への取り組みが真剣でした。オンラインで講師と話すことに慣れるだけではなく、単語力も向上したことをうれしく思います。
英語学A	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。1時間目からへびーな内容だったかもしれませんね。Zoom利用になり、お互いになれない授業形式になりましたが、パワポを使って分かりやすく説明できたかなと思う部分もあります。論理性が少しでも身につけていたら、うれしい限りです。
観光概論	武内 一良	<p>今年度は、入学したばかりの皆さんがいきなりキャンパスに來れないまま遠隔操作による授業となりました。この観光概論は観光ビジネスコースの学生にとってとても大切な必修科目です。Zoomなど双方向の授業を入学していきなり始めてしまうと、遠隔操作がうまくできない学生をおいてきばりにしてしまう可能性があります。そのため、この観光概論ではmanabaで資料を提供し皆さんのペースで勉強できるオンデマンドの環境で対応することにしたのです。また、期末試験は今まで例外なく持ち込み不可で60分間の全問記述問題でしたが、今年度だけは自宅で配付資料を見ながら8日間の期間を与えて答案を提出させるといっても優しい特別対応をしました。</p> <p>しかしながら、答案を見ると、自分のペースで資料を読めばいいという環境に甘えて、あまり資料を読んでいないような答案が目立ちました。中には資料を一切読まずにインターネットにキーワードを入れて出てきた文章をそのままコピーして答案にしている学生もいました。この観光概論は資料を読まずに合格できるような科目ではありません。</p> <p>これまでならば期末試験が不合格でも再試験で合格する機会がありましたが、今年度は再試験がなくなりました。そこで、通常であれば答案が60点以上を合格としていましたが、今回は50点以上を再試験がない分合格としました。昨年度の不合格者は、持ち込み不可の60分記述試験で1年生77名中19名が不合格（24.7%）となりました。今年度は、自宅で資料を見ながら8日間で記述問題に答えるという優しい環境でありながら、1年生63名中14名もの不合格者（50点未満22.2%）が出ました。学生アンケートで難しいという感想が少なからずありましたが、manabaを使って質問をしてきた学生は数名しかいませんでした。manabaを通じてアボを取り、Zoomでの双方向によるマンツーマン教育をしてもらえる環境を整えて待っていたにもかかわらず、その環境を活用した学生はたったの2名です。</p> <p>大学はもう義務教育ではないので、勉強したい学生だけが来るところであり、勉強したい学生にとっては素晴らしい環境が用意されています。様々な専門の先生方がたくさんいて、様々な教育機器があり、中高よりも充実した図書館があります。そうした環境にあって、教員とのコミュニケーションを避けようとするのはもったいないことです。manabaで質問する、あるいはmanabaでアボを取ってからZoomで個別に聞きたいところを聞くようにしましょう。皆さんの質問に答えて、一人ひとりがちゃんと理解してもらえるようにすることが私の仕事です。私に仕事をさせてください。</p> <p>なお、今回不合格となって来年度に1年生と混ざって再履修をする学生は、そこでいい成績と取るとそのいい成績が書き上げられます。今年度19名の再履修者の内、91点以上「A+」が2名、80点以上「A」が1名いました。</p>
観光英語	武内 一良	<p>この観光英語は、英語コミュニケーション学科に入学しながら就職活動のときに履歴書に英語に関する資格や試験結果が書けない学生のために、最低でも観光英語検定3級に合格という文字を書けるようにするという願いが込められた科目です。英検3級などは大学生として履歴書に書けない恥ずかしいレベルですが、この観光英検3級は英検準2級レベルの英語で合格でき、履歴書に書けるものです。</p> <p>そのため、観光英検検定3級の過去問題をオンラインのプログラムで自分のペースで勉強していくと同時に、英検3級さえ受からない学生や今更中学生の文法など恥ずかしくて誰にも聞けないという学生に対して、優しく文法を解説した資料を通じて英語をもう一度好きになってもらうための科目です。期末試験の感想文からは、基礎文法を解説した資料が試験に関係ないため、あまり読んでもらっていないように感じています。今からでも遅くありません。とても分かりやすい内容ですので、読んでみてください。</p> <p>英語は生涯にわたって必要となるものです。しかも皆さんは英語コミュニケーション学科卒業という看板を背負って生きていくことになります。「英語の学科を卒業したのなら英語できるんだね。」という質問にずっと笑ってごまかし続けていくのか、近い将来「まあ、簡単な英会話くらいなら」とか「道を聞いたりレストランで注文する程度の英語はできるかな」とかいう答えができる自分を目指して頑張ってください。</p>

[2020 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発音演習 A	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 Zoom利用になって、朝1限からPCの前で大声出して、もしかしたら、おうちの方にご迷惑だったかもしれません。課題も音声ファイルを提出するという予定していなかった形式への変更で大変でしたが、練習の時間がとれたのではないのでしょうか。個人個人への指導をもっと細かくできたらなあと思います。
EffectiveA(E①)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This upper-intermediate class did quite well with the video listening material and presentations.
WritingA(E⑤)	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 前期は総復習でしたので、ワクワクするような内容ではなかったかもしれませんがね。でも基本を押さえれば、伸びる幅も大きいですよ。皆さんのこれからに期待しています。
EffectiveA(E③)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This beginning level class would benefit from face to face classes. But since that was not possible, easier than usual materials had to be implemented.
英語音声学 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることの多い授業ですが、今年度は昨年度のほぼ半数の69という履修者数でした。そのせいか、「空き時間があつたから」という理由で履修していた学生がほぼ半減しました。一方で、半数を割っていた「授業内容に興味があつたから」という理由で履修した学生が7割以上に上昇するなど、受講者の質の変化が見られました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと思います。
比較文化論 A	久保田 佳枝	この授業では各学生の異なる意見を知ることを通して「みんな違ってみんないい」という身近にある文化の違いを知って頂きながら、日本と諸外国の文化の違いをみてきました。COVID-19の影響を受け、オンラインで講義形式の授業でしたが、皆さんからの活発な発言があり、実のあるディスカッションも数多くできましたね。講義回数が進むにつれて、皆さんが学年や意見の違いに関係なく自分の意見を発言・発表できるように成長してくれたことに、科目を担当した私も大変嬉しく思います。引き続き他の授業も、この調子で取り組んでいきましょう。
キッズイングリッシュ	三田 薫	メディア授業でしたが、今年は例年以上にグループのメンバーが結束して練習に励み、集中して課題に取り組んでくれました。児童英語教育への興味をもち続けてください。
Workshop C	三田 薫	メディア授業でしたが、皆さんが外国人と話すことに抵抗感がどんどんなくなり、また発音や文法も伸びていることをうれしく思います。後期の授業も一緒に頑張りましょう。
英米言語文化論 A	萩野 敏	「授業内容に興味があつたから」という理由で履修した学生は昨年度の4割程度から6割程度に増え、同程度いた「空き時間があつたから」という理由で履修した学生は2割以下に減るなど、今年度は受講者の質の変化が見られました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなかったと思います。総合満足度は全体の平均を少し上回りました。
Writing C	久保田 佳枝	この授業は、英コミを卒業する前に「これだけは理解していて欲しい」という英語構文や語法を集中的に学ぶ内容になっておりましたが、レベル別ではなかったため、学生の皆さんの英語レベルによっては、難しく感じたり、また反対に簡単すぎると思われたり、とあつたかと思えます。英語は、地道に勉強を継続することで使えるようになります。ですので、簡単すぎると思われた学生さんも今一度教材の総復習をおすすめいたします。また難しいと感じた学生さんは、教材の単語や語法を覚えることを継続して行っていきましょう。
卒業演習 A	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This 'zemi' did quite well with the content presented them. All students engaged in the course matter and I am confident they took something away from the shortened 12-week semester.
卒業演習 A	久保田 佳枝	COVID-19の影響によりオンライン授業となり、そのような状況の中、多くのみなさんが就職活動中ということも重なり、慣れない環境において、定期的な出席が難しい方も複数見られましたが、課題にはきちんと取り組んで頂き、ありがとうございます。ディスカッションでは、理論的背景や皆さんの経験等に基づき、数々の意見が出され、また毎回変わるファシリテーターの話のまとめ方など、皆さんの成長をみることができました。後期もこの調子で楽しくコミュニケーションに関する理解を深めていきましょう。
卒業演習 A	萩野 敏	総合評価の4.47をはじめ、全体的にとっても高い評価を得ることができました。学生の発表が中心となる演習なので、この形式の授業評価にはやや戸惑いがあるように見受けられました。

[2020 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業演習 A	武内 一良	卒業演習は、最初にどの教員のクラスを希望するか聞かれますが、第一希望から第七希望まで書かされた上に、結局第一希望や第二希望にも入らない教員が担当になる場合があります。しかも、その教員とは、前期だけでなく後期も付き合わなければなりません。そんな学生の気持ちを考え、私のクラスではストレスのない楽しいクラス環境となるよう気を配っています。最初の授業から前期の終わりまで、ゼミ長によるグループLINEを通じて、またZoomでの授業を通じて、皆さんに寄り添う対応ができたのではないかと思います。学生アンケートでもいい結果となっていたので一息できました。後期は小論文の完成を目指して、さらに充実した授業を展開していく予定です。登校できる学生が一人でもいる限り、教室での対面授業を続けていくつもりです。皆さん、後期もよろしくお願いします。
卒業演習 A	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 資料を読んでおいて、授業中は質問、コメントのみという「大学」の形式の授業でしたがいかがでしたか？ 皆さんの質問、コメントの質は高いものでした。素晴らしい。 後期はさらにレベルアップしていきますよ！
卒業演習 A	三田 薫	メディア授業でしたが、皆さんが毎回の英文ストーリー作成でどどん力をつけていることを実感していました。最後のパワーポイントでの発表は実に見事でした。後期も一緒に頑張りましょう。
卒業演習 A	大倉 恭輔	大甘の評価です。 自分で学ぶという意識を持ってください。
ステップアップ英語	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Though this course had only 6 students, they all performed quite well, by giving short presentations each week.
ReadingC	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This class had a varying level of students but even so all were able to complete assignments as requested. I am certain most students were able to take away some degree of satisfaction from the having completed the material offered them.